



第1次秋田市エイジフレンドリーシティ行動計画の検証について

第1次秋田市エイジフレンドリーシティ行動計画における各事業・取組について、平成28年度末（最終年度）時点における実績値をもとに、第1次行動計画の検証を行います。

1 行政中心の行動計画における実績値

(1) 個別施策の実施状況（平成25年度～平成28年度）

- | | | |
|------|-------------------|---------------------|
| 基本方針 | 1 屋外スペースと建物、施設の整備 | 5 お互いを認め合う地域と社会 |
| | 2 交通機関の利便性の向上 | 6 高齢者の就業や市民参加の機会の増加 |
| | 3 高齢者の住環境の整備 | 7 高齢者の情報環境の整備 |
| | 4 高齢者の社会参加 | 8 保健・福祉・医療サービスの充実 |

項目		年度	事業数	A評価	B評価	C評価	D評価	評価対象外					
全体		25	171	89	52%	52	30%		30	18%			
		26	169	81	48%	42	25%	5	3%	11	7%	30	18%
		27	165	73	44%	42	26%	12	7%	6	4%	32	19%
		28	164	70	43%	39	24%	12	7%	11	7%	32	19%
基本方針1	安全安心で誰もが集える屋外スペースと建物、施設の整備を進めます	25	35	17	49%	11	31%					7	20%
		26	34	12	35%	5	15%	3	9%	3	9%	11	32%
		27	33	18	55%	4	12%	4	12%	0	0%	7	21%
		28	34	16	47%	5	15%	1	3%	1	3%	11	32%
基本方針2	交通機関の利便性の向上を図ります	25	11	5	46%	2	18%					4	36%
		26	11	6	55%	0	0%	0	0%	1	9%	4	36%
		27	9	4	45%	1	11%	0	0%	1	11%	3	33%
		28	11	5	46%	1	9%	0	0%	1	9%	4	36%
基本方針3	高齢者の住環境を整備します	25	10	7	70%	2	20%					1	10%
		26	10	6	60%	1	10%	0	0%	2	20%	1	10%
		27	8	3	37%	3	37%	1	13%	1	13%	0	0%
		28	9	3	33%	2	22%	3	33%	0	0%	1	11%
基本方針4	高齢者の社会参加を図ります	25	35	28	80%	4	11%					3	9%
		26	35	25	71%	7	20%	0	0%	0	0%	3	9%
		27	36	19	53%	10	28%	3	8%	0	0%	4	11%
		28	35	17	49%	13	37%	1	3%	1	3%	3	9%
基本方針5	あらゆる世代がお互いを認め合う地域と社会をつくります	25	11	4	36%	5	45%					2	18%
		26	11	4	36%	5	45%	1	9%	0	0%	1	9%
		27	12	5	42%	3	25%	1	8%	1	8%	2	17%
		28	12	4	33%	4	33%	2	17%	0	0%	2	17%
基本方針6	高齢者の就業や市民参加の機会を増やします	25	14	5	36%	9	64%					0	0%
		26	14	6	43%	8	57%	0	0%	0	0%	0	0%
		27	14	7	50%	7	50%	0	0%	0	0%	0	0%
		28	14	6	43%	5	36%	0	0%	2	14%	1	7%
基本方針7	高齢者の情報環境を整備します	25	10	4	40%	2	20%					4	40%
		26	10	6	60%	1	10%	0	0%	0	0%	3	30%
		27	11	4	36%	1	9%	0	0%	0	0%	6	55%
		28	9	4	44%	1	11%	1	11%	0	0%	3	33%
基本方針8	保健・福祉・医療サービスを充実させ、地域社会の支援体制を整えます	25	45	19	42%	17	38%					9	20%
		26	44	16	36%	15	34%	1	2%	5	11%	7	16%
		27	42	13	31%	13	31%	3	7%	3	7%	10	24%
		28	40	15	38%	8	20%	4	10%	6	15%	7	18%

○評価の定義

- | | |
|-----------------|---------------------|
| A（達成率100%以上） | 目標値を達成 |
| B（達成率70～100%未満） | 目標値をほぼ達成 |
| C（達成率50～70%未満） | 目標値を一定程度達成 |
| D（達成率50%未満） | 目標値の達成は不十分 |
| －（評価対象外） | 目標指数の設定が困難なため、評価対象外 |

※平成25年度実績については、A評価（25年度目標値は達成済み）、B評価（25年度目標値の達成が著しく遅れている、又は困難）の2段階評価である。

(2) 主な取組の実施状況（平成25年度～平成28年度）

基本方針	取組・事業	指標	実績値				目標値	評価
			H25	H26	H27	H28	H28	H28
1	都市公園バリアフリー化事業	バリアフリー化した都市公園数	109公園	111公園	121公園	127公園	103公園	A
	融雪施設改良事業	箇所数	18か所	21か所	23か所	25か所	32か所	B
2	高齢者コインバス事業	資格証明書交付率	56.6%	57.7%	59.3%	60.8%	65.0%	B
	バス交通総合改善事業	マイタウンバスにおけるコインバス利用者数	62,102人	71,729人	76,236人	73,568人	66,244人	A
3	住宅リフォーム支援事業	リフォーム実施比率	4.4%	3.3%	2.9%	2.6%	4.5%	C
	生活支援ハウス運営事業	入居者数	20人	20人	20人	18人	20人	B
4	官民連携秋田駅周辺活性化事業	アルヴェ入館者数	3,090千人	3,360千人	3,442千人	3,464千人	3,200千人	A
	図書館資料整備経費	中央図書館明徳館大活字本貸出冊数	2,840冊	2,319冊	3,368冊	5,005冊	1,680冊	A
5	エイジフレンドリーシティ普及啓発事業	(1)エイジフレンドリーシティの認知度 (2)エイジフレンドリーシティカレッジ満足度	(1) 63.7% (2) -	(1) 68.7% (2) -	(1) 63.5% (2) 80.7%	(1) 68.2% (2) 87.0%	(1) 100% (2) 70.0%	B
	家族・地域の絆づくり推進事業	絆づくりイベントの (1)参加者数 (2)認知度	(1) 1,314人 (2) 46.0%	(1) 1,322人 (2) 43.9%	(1) 1,038人 (2) 41.0%	(1) 1,205人 (2) 55.4%	(1) 1,100人 (2) 60.0%	B
6	傾聴ボランティア養成事業	養成講座受講者数	83人	172人	237人	385人	420人	B
	高齢者就業機会確保事業費補助金	シルバー人材センター会員数	824人	855人	875人	944人	1,000人	B
7	文書管理費	文字の大きさが12ポイント未満の市民向け申請書・請求書・届出書の割合	-	37.3%	-	30.3%	31.0%	A
8	認知症サポーター養成事業	サポーター数	1,047人	3,800人	4,034人	3,106人	4,500人	C
	歩くべあきた高齢者健康づくり事業	日常生活における1日の歩数(65歳以上)	-	-	7,795歩	8,457歩	6,000歩以上	A

2 検証

(1) 行政中心の行動計画

エイジフレンドリーシティ関連事業として、平成25年度に171事業、26年度に169事業、27年度に165事業、28年度に164事業を実施し、目標達成率は平成25年度で50%超（A評価）、26年度～28年度で約70%（AおよびB評価）であった。基本方針ごとにみると、基本方針4（高齢者の社会参加）、基本方針6（高齢者の就業機会や市民参加の機会創出）で取組が着実に進んだ一方、基本方針3（高齢者の住環境）、基本方針8（保健、福祉、医療サービスの充実と地域社会の支援体制整備）で目標値を達成できなかった事業があった。市独自の事業としては、「高齢者コインバス事業」、「高齢者コミュニティ活動創出・支援事業」、「エイジフレンドリーパートナーづくり推進事業」などに着手し、市民・民間事業者の主体的な活動を推進した。

(2) 市民中心の行動計画

第1次行動計画策定作業部会における参加者同士の交流をきっかけに結成された「エイジフレンドリーあきた市民の会」が中心となり、事業を実施した。4つの行動計画のうち、3つの計画において事業が継続的に展開されており、秋田の良さを実感・共感する街歩きイベントの「街のコンシェルジュ事業」、市民のロールモデルとなる生き方を実践している高齢者を発掘し広く紹介する、「AKB（あきたのかわいいばあちゃん）&ASJ（あきたのすてきなじいちゃん）認定事業」、普及啓発を目的とした「思いやりコンテスト」、「エイジフレンドリー夏祭り」などの事業は、行政主導の事業に比べ、市民から興味や親しみを持ってもらいやすく、エイジフレンドリーシティの理念の普及浸透という面で大きな効果が得られた。

(3) 総括

「高齢者コインバス事業」、「傾聴ボランティア養成事業」、「介護支援ボランティア事業」など新規事業の実施により、高齢者の外出や社会参加、生きがいが促進されたほか、「エイジフレンドリーパートナーづくり推進事業」の実施により、民間事業者による独自の取組が広がっている。また、エイジフレンドリーあきた市民の会や、「高齢者コミュニティ活動創出・支援事業」によって、住民による主体的な活動が徐々に広がっており、地域社会全体でエイジフレンドリーシティに取り組むという目指すべき方向の基礎はできたものと捉えている。

第2次秋田市エイジフレンドリーシティ（高齢者にやさしい都市）行動計画（平成29年度～33年度）においては、第1次行動計画で達成された多くの成果を踏まえつつ、それらをさらに発展させ、地域社会全体で目標・理念を共有しながら、行政、市民、民間の協働による地域課題の解決を目指すものとする。そして、超高齢社会の課題解決先進地として、高齢者のニーズや多様性を深く理解し、活かすことにより、地域社会や経済の発展につなげる「秋田市モデル」の推進に努める。